

# 東海団地少年野球連盟規約

## 第一章 総 則

### 第1条「名 称」

本連盟を東海団地少年野球連盟(以下連盟と称す)

### 第2条「目 的」

少年の健全な心身の育成と、相互親睦を高める事を目的とする。

### 第3条「事 業」

前条の目的を達成する為、各種の野球大会に類する催しを開催し運営する。

## 第二章 組 織

### 第1条「構 成」

連盟は、下記の各号に該当する東海県下の少年野球チームで構成される。

1. 参加されるチームは最低3～4名以上の成人で、保護責任者が明確に存在するチームによって構成される。
2. 参加チームは、地域の人達と、親睦・融和・互助の精神・心身の鍛錬を重んじるチーム
3. 新規参加希望チームは、連盟理事又は連盟参加チームの推薦を得て理事会の承認を得たチーム。

## 第三章 選手の資格及び登録

### 第1条「選 手」

連盟に参加するチームの選手は小学校1年生から6年生の児童である事。

### 第2条 「登 録」

登録は1団体あたり、10,000円の登録料を添えて、各年毎に登録し、次の通りである事。

1. チームに正式のユニフォームのある事。
2. 登録は連盟所定の用紙で行う。
3. 登録は毎年行う事。登録の変更は連盟所定の用紙で行う事。  
大会期間中においても登録の変更は可とする。
4. 同一団体で何チームでも登録ができる。但し、1選手が2チームに重複登録する事はできない。
5. 登録選手枠は1チーム30名までとする。但し、1団体で複数チームを大会に参加させる場合は、その単独チームあたり25名迄とする。
6. 複数チーム出場する場合のチーム名は、〇〇A1 - 〇〇A2とする。  
〇〇A2の目的はチーム編成に6年生の選手が複数以上常時出場する事。

## 第四章 大会

### 第1条「大会」

大会は年間3大会を開催する。またこれ以上に大会を増やす場合は、理事会が決定する。さらに定期化された大会を減らす場合は総会の承認を必要とする。

### 第2条「運営」

大会の運営は理事会が指名または、依頼した運営委員等により運営を行う。

## 第五章 総会及び役員

### 第1条「総会」

総会は年1回理事会の招集により開催し規約の改廃、役員を選出、会計の承認等会議する。

### 第2条「役員」

連盟には以下の役員(理事)を置く

1. 理事長：1名
2. 副理事長：複数名(事務局長/運営担当/会計担当/審判長)
3. 理事：10余名(運営委員)
4. 常任顧問及び顧問を若干名(各顧問は理事会推薦による)

### 第3条「理事会」

各理事により構成し、各種の審議、企画等を会議する。その召集は理事長が行う。

### 第4条「幹部理事会」

緊急を要する審議等に際し、理事長・各担当副理事長(事務局長/運営委員長/審判長/会計)及び各ブロック長により構成され審議を行う。

### 第5条「専門部会」

理事会は必要に応じて連盟役職及び専門部等設置する事ができる。

### 第6条「運営委員等」

理事会の指名、推薦依頼により運営委員会を設け大会の運営等にあたる。

## 第六章 会計

### 第1条「会計」

連盟の会計は、連盟加入団体登録料：10,000円 文書費：1,000円  
大会参加費：5,000円 日本団地選手権大会カンパ料：1,000円  
但し、途中大会参加は登録料を夏季大会7,000円、秋季大会4,000円とし  
文書費は夏季大会及び秋季大会途中参加チームも1,000円とする。  
途中参加登録チームは、日本団地選手権大会カンパ料の1,000円は免除する。

### 第2条「会計年度」

会計年度は、毎年1月1日から12月31日迄とする

## 第七章 大会規定

### 第1条「大会規定」

大会を円滑に運営する為、大会規定を別に設ける。  
規定は理事会により作成され、各大会前にこれを掲示し運営にあたり規定に従う。

## 第八章 表彰及び懲罰

### 第1条「表彰」

年間を通じ特に表彰を認められる内容があったチーム及び個人を理事会の会議を経て表彰する事がある。

### 第2条「懲罰」

連盟規約及び大会規定など大幅に違反する行為のあったチーム、また運営等に支障をきたすチームを処罰する事がある。  
処罰の内容及び方法は理事会の会議で決定する。

## 第九章 付 則

### 第1条「規則の改廃」

本規約の改廃は総会の2/3以上の賛否によりこれを行う。

### 第2条「発効」

本規則は、2019年2月10日(一部改定)から発効する。

## 追加事項

小子化の時代、当連盟参加各チームに於いて、選手人数が減少しチーム構成に支障をきたす現状を打開する為、下記の事項を追加する

## 目 的

- 1項 試合出場に、人数不足で(9人未満)のチームに対し、在籍選手救済目的。
- 2項 当該チームの、周辺地域に同様なチームが存在する場合は、混成チームとして、出場可能とする。
- 3項 混成チームの出場期間は、双方当該チーム同士に選手層を満たした時、解散とする。
- 4項 混成出場チームのチーム名に対しては、当該混成チームにて決定する。
- 5項 ユニフォーム着用については、各既存チームの物を着用とする。
- 6項 混成チームを構成し、一定期間経過後、新チーム結成には支障無とする。

# 東海団地少年野球連盟大会規定

本規定は連盟の運営する大会を円滑に行う為、大会関係者並びに出場選手が相互確認し、遵守する事項として定める。

## 『試合準備』

1. 試合日時・会場について、全ての第1回戦は、抽選会の時に決定する。  
その後の試合については、大会組み合わせ表に明示する、各運営担当理事から連絡する。  
なお、当試合チームに対し、ベース・ライン引き等の持参を依頼した時はご協力御願ひ致します。
2. 天候の状況により、大会開会式及び当日の試合開催可否の決定は、理事長または担当理事が行う。  
ただし、試合決定時間及びそれについての確認方法は抽選会の時に定める。
3. 試合に臨む前に、提出してある選手登録名簿の選手の中から、20名まで選出し3通以上メンバー表を作成し、その試合の審判員に提出する。
4. ベンチ入り人数は、原則としてメンバー表にある20名までとする。  
20名を超える場合は試合開始前に、担当理事・審判・相手チームの了解を得る事。  
ただし、当然メンバー表に記入の無い選手は、試合に参加してはいけない。  
選手の背番号は、0番から99番とする。(指導者の30, 29, 28は除く)  
指導者は、監督・コーチ2名・スコアラー1名・ケアマネージャー2名の合計6名以内とする。  
背番号は、監督30番 コーチは29番・28番とする
5. 監督・コーチは、そのチームのユニフォームを着用しなければならない、スコアラー・ケアマネージャーはそのチームの一員である事が分かる服装とする。また、スコアラー・ケアマネージャーについては帽子を着用の事。
6. 試合会場に到着するのは、指定試合時間の30分前までとする。これに遅刻し連絡もなく指定試合時間に遅れ、担当理事に不可抗力の理由と認められない限り、遅刻チームは不戦負とする。
7. 試合のベンチは、抽選番号若番号を1塁側とする。

## 『試合要綱』

1. 審判は連盟登録の審判員が担当する。  
球審は「連盟理事・その地区登録審判員・連盟から依頼した審判員」が担当し、塁審は1塁、3塁審判は「試合を行うチームから、各1名連盟登録審判員」が、自らベンチ反対側の塁審を担当する。以上を原則とするが、担当理事、試合当事チームの了解決定で例外もある。  
審判を行う球審及び塁審は、審判として相応しい服を着用して審判を行う  
※審判として相応しい服：正規の審判服もしくは、パンツは濃い系のスラックス、

- 上着は白系のカッターシャツやポロシャツ等とする。審判帽と連盟審判員バッヂは必ず着用すること。
2. 大会試合球は、軟式(ナイガイ新J号球)を使用する。  
年度初めに連盟から当年度初めに登録チームに、大会使用球6個を支給する。  
各チームは試合毎に2個ずつ提供しなければならない。
  3. シートノックは各チーム5分以内を原則とし、担当審判の指示に従う。  
ただし、運営上行わない場合もある。  
ノッカーは内、外野に分かれてもよいがユニフォームを着用し背番号が見えること  
ノッカーの補助員は、ヘルメット着用のこと  
マウンドでの投球練習時でもキャッチャーはヘルメット、マスクを着用する事
  4. 試合はトーナメント方式とし、1ゲーム=6イニング、試合時間は1時間30分とする。  
ただし、4回以降7点以上の点差が生じた場合はコールドゲームとする。
  5. 後攻チームが3アウトとなった時点で、試合開始より1時間30分を経過していた時は以降新しいイニングに入らず、それまでの得点で勝敗を決定する。試合時間内6回終了時両チーム同点の時は即、タイブレークを行って勝敗を決定する時間内延長戦は行わない。
  6. タイブレークの方法は、その試合打ち切り時の最終メンバーの選手で行い打席順、(1番打者：3塁/2番打者：2塁/3番打者：1塁)の走者として、4番打者より、1アウト満塁の状況にて開始、通常通り3アウトまで試合を行い得点差で勝敗を決定する。1イニングで決着がつかない時は、さらに継続打順でもう1イニング1アウト満塁にておこないそれでも決着がつかない時は、最終メンバーの選手により、抽選で決める。PH等の選手交代は(突然の怪我等でプレーの続行が不可能と審判が判断した時は除く)認めない。
  7. 決勝戦は、コールドゲーム及び試合時間1時間30分は採用せず、必ず6イニングまでとし、決着がつかない場合は即タイブレークにて決着がつくまで行う。
  8. 降雨また、天変地変等により、試合中断及び再開が不能の可否は球審が決定する。  
試合再開の可否の判断は、球審、塁審2名の合議で行い、場合によっては、当該チームの監督2名(計5名)で行い最終決定を球審が行う。  
試合の勝敗は、4イニング以上を過ぎて点差のある時は、その得点により決定する。  
当然、後攻がリードの時は4回表が終了していれば試合成立となる。  
但し、4イニング以内で試合続行が不可能の場合は再試合とする。  
また、4回を過ぎて先攻側に得点が入り、後攻側の試合続行不可能と判断した時は、ノーゲームとなり、再試合を行う。
  9. 試合中の言動について、選手は少年らしく、監督、コーチ及び応援団は節度ある言動態度を遵守する。試合中応援団員は自軍ベンチより外野側に位置する事。  
バックネット裏側での観戦は禁止とする
  10. 審判の判定には、絶対従う事。抗議、質問は、監督及び主将に限る。

11. 試合中のファールボールは、1 塁側に飛んだボールは1 塁側、3 塁側に飛んだボールは3 塁側、それぞれの塁側の選手が拾い汚れをふき取って球審に渡す。
12. 投手の投球数については、70 球以内とする。  
試合中規定投球数に達した場合、その打者が攻撃を完了するまで投球できる。  
牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。  
投球数は各チームでの管理とし、対戦相手側投手の投球数を数える。
13. 申告故意四球は、野球規則の通り適用する。
14. ホームベースは、一般用の幅 17 インチ（幅 43.2cm）を使用する。
15. 試合で使用した球（4 球）については、試合終了後、グラウンド提供チームにお渡しする。

### 『大会運営』

1. 抽選会で1 番くじを引き当てた、そのチームの選手は選手宣誓を行う。
2. 2 学年にわたって開催される大会(春季大会)には、開会時(3 月)に最上級学年生(6 年生)は出場する事はできない。

### 『罰則規定』

1. 試合チームが、連盟の認める理由以外で、試合不都合を申し立て大会運営上深刻な混乱をきたした時、棄権を勧告する場合がある。
2. 連盟規約に定めた選手資格に疑問のあるチームがでた場合、また、理事会が必要と認めた時そのチームのメンバー(選手)の在学証明書の提出を求める事がある。  
提出書の審査により、万一不正有りとして理事会が判定した時は、連盟規約第七章の懲罰にかけその審議に入る直前の当該チームの行った試合は、その結果の如何によらず相手チームを勝者とする。

### 『留意事項』

1. グラウンドで起こった事故負傷、天災については、主催者(連盟)は応急処置をする他は一切その責任を負わない。  
従ってチームの代表者及び保護者でその後の処置等を行い、主催者はその責任は持たない。
  2. 少年野球に相応しい、試合を行うため、危険プレーには十分留意する事。  
危険プレーの参考として、不用意な“ホームスチール”等。
- ※以上の当連盟大会規定及び申し合わせ事項以外は、全日本軟式野球連盟、少年野球学童部ルールを摘要する。

# 東海団地少年野球 歴代 優勝・準優勝チーム

1976年(昭和51年)～2021年(令和3年)

上段:優勝 下段:準優勝

	春季大会	夏季大会	秋季大会
1976年 (昭和51年)	第1回大会 虹ヶ丘少年野球クラブ 相生クラブ		第1回大会 虹ヶ丘少年野球クラブ 豊明ジュニアソーホーズ
1977年 (昭和52年)	第2回大会 虹ヶ丘少年野球クラブ 岩倉東野球少年団		第2回大会 岩倉東野球少年団 天王団地少年野球クラブ
1978年 (昭和53年)	第3回大会 岩倉東野球少年団 鳴子ファイターズ	第1回大会 鳴子ファイターズ 平針HBC	第3回大会 鳴子ファイターズ 原山台少年野球クラブ
1979年 (昭和54年)	第4回大会 平針HBC 原山台少年野球クラブ	第2回大会 平針HBC 阿久比フレンズ	第4回大会 岩倉東野球少年団 鳴子ファイターズ
1980年 (昭和55年)	第5回大会 原山台少年野球クラブ 八幡台少年野球部	第3回大会 高森台イーグルス 江南クイッカーズ	第5回大会 畑田グッピーズ 平針HBC
1981年 (昭和56年)	第6回大会 平針HBC 八幡台少年野球部	第4回大会 平針HBC 藤山台ファイターズ	第6回大会 原山台少年野球クラブ 青木グレート
1982年 (昭和57年)	第7回大会 平山フレンダーズ 平針HBC	第5回大会 知立ラーバス 高森台イーグルス	第7回大会 浅井北少年野球クラブ 平山フレンダーズ
1983年 (昭和58年)	第8回大会 八幡台少年野球部 堤スターズ	第6回大会 知立ラーバス 浅井北少年野球クラブ	第8回大会 高森台イーグルス 萩山台少年野球クラブ
1984年 (昭和59年)	第9回大会 江南クイッカーズ 堤スターズ	第7回大会 梅森ジャガーズ 平針HBC	第9回大会 平針HBC 青木グレート
1985年 (昭和60年)	第10回大会 葉栗カンガルーズ 八幡台少年野球部	第8回大会 原山台少年野球クラブ 平針HBC	第10回大会 高森台イーグルス 原山台少年野球クラブ
1986年 (昭和61年)	第11回大会 江南クイッカーズ 堤スターズ	第9回大会 平針HBC 一宮西成クラブ	第11回大会 知立ラーバス 平針HBC

上段:優勝 下段:準優勝

	春季大会	夏季大会	秋季大会
1987年 (昭和62年)	第12回大会 堤スターズ 梅森ジャガーズ	第10回大会 原山台少年野球クラブ 平針HBC	第12回大会 平針HBC 梅森ジャガーズ
1988年 (昭和63年)	第13回大会 原山台少年野球クラブ 坂下スポーツ少年団	第11回: 原山台少年野球クラブ 富士シャークス	第13回大会 富士シャークス 県営鳴海団地
1989年 (平成元年)	第14回大会 衣丘ペアーズ 平針HBC	第12回大会 東天白ブレンズ 岩成台シャークス	第14回大会 東天白ブレンズ 萩山台少年野球クラブ
1990年 (平成2年)	第15回大会 守山ボーイズ 原山台少年野球クラブ	第13回大会 原山台少年野球クラブ 清洲少年野球クラブ	第15回大会 原山台少年野球クラブ 鳴子ファイターズ
1991年 (平成3年)	第16回大会 知立ラーバス 有松ジュニアーズ	第14回大会 知立ラーバス 岩成台シャークス	第16回大会 知立ラーバス 東天白ブレズ
1992年 (平成4年)	第17回大会 守山ボーイズ 八幡台少年野球部	第15回大会 守山ボーイズ 八幡台少年野球部	第17回大会 光ヶ丘少年野球団 高御堂少年野球クラブ
1993年 (平成5年)	第18回大会 鳴子ファイターズ 守山ボーイズ	第16回大会 原山台少年野球クラブ 鳴子ファイターズ	第18回大会 守山ボーイズ 原山台少年野球クラブ
1994年 (平成6年)	第19回大会 神の倉ホワイトレッズ 知立ラーバス	第17回大会 神の倉ホワイトレッズ 知立ラーバス	第19回大会 豊田サンダーズ サンデージュニア
1995年 (平成7年)	第20回大会 保見ヶ丘少年野球 坂下スポーツ少年団	第18回大会 保見ヶ丘少年野球 守山ボーイズ	第20回大会 守山ボーイズ 萩山台少年野球クラブ
1996年 (平成8年)	第21回大会 豊田サンダーズ 原山台少年野球クラブ	第19回大会 石尾台スポーツ少年団 守山ボーイズ	第21回大会 御津ベアーズ 光ヶ丘少年野球団
1997年 (平成9年)	第22回大会 光ヶ丘少年野球団 有松ジュニアーズ	第20回大会 三谷東若葉クラブ 守山ボーイズ	第22回大会 守山ボーイズ 坂下スポーツ少年団
1998年 (平成10年)	第23回大会 守山ボーイズ 御津ベアーズ	第21回大会 御津ベアーズ 知立ラーバス	第23回大会 上郷ノーティボーイズ 石尾台スポーツ少年団



上段:優勝 下段:準優勝

	春季大会	夏季大会	秋季大会
1999年 (平成11年)	第24回大会 逢妻ファイターズ 大城プリンス	第22回大会 三谷東若葉クラブ 中山クラブ	第24回大会 名古屋ウエスタンズ 逢妻ファイターズ
2000年 (平成12年)	第25回大会 守山ボーイズ 三谷東若葉クラブ	第23回大会 五ヶ丘フレンズ 三谷東若葉クラブ	第25回大会 守山ボーイズ 高森台イーグルス
2001年 (平成13年)	第26回大会 今伊勢少年野球クラブ 守山ボーイズ	第24回大会 今伊勢少年野球クラブ 守山ボーイズ	第26回大会 守山ボーイズ 高森台イーグルス
2002年 (平成14年)	第27回大会 大城プリンス 今伊勢少年野球クラブ	第25回大会 中央台カッターズ 鳴子ファイターズ	第27回大会 守山ボーイズ 大城プリンス
2003年 (平成15年)	第28回大会 鳴子ファイターズ 守山ボーイズ	第26回大会 名古屋ウエスタンズ 梅森ジャガーズ	第28回大会 守山ボーイズ 名古屋ウエスタンズ
2004年 (平成16年)	第29回大会 豊田サンボーイズ 上郷ノーティーボーイズ	第27回大会 守山ボーイズ ジュニアソーホーズ	第29回大会 守山ボーイズ 宮西少年野球クラブ
2005年 (平成17年)	第30回大会 御津ベアーズ 大城プリンス	第28回大会 守山ボーイズ 三谷東若葉クラブ	第30回大会 市木フェニックス 名古屋ウエスタンズ
2006年 (平成18年)	第31回大会 藤山台ファイターズ 八幡学童野球クラブ	第29回大会 名古屋ウエスタンズ 小牧パンサーズ	第31回大会 小牧パンサーズ 藤山台ファイターズ
2007年 (平成19年)	第32回大会 三谷東若葉クラブ 大城プリンス	第30回大会 大城プリンス 守山ボーイズ	第32回大会 守山ボーイズ 鳴子ファイターズ
2008年 (平成20年)	第33回大会 守山ボーイズ 三谷東若葉	第31回大会 守山ボーイズ 木津ブライト	第33回大会 知立サウス 小牧パンサーズ
2009年 (平成21年)	第34回大会 サンデージュニア 味岡キングス	第32回大会 本庄パワーズ 效範少年野球クラブ	第34回大会 旭丘スカイシャークス サンデージュニア
2010年 (平成22年)	第35回大会 ドリームボーイズ 守山ボーイズ	第33回大会 スポーツクラブボンフリー 上郷ノーティーボーイズ	第35回大会 守山ボーイズ 中央台カッターズ

上段:優勝 下段:準優勝

	春季大会	夏季大会	秋季大会
2011年 (平成23年)	第36回大会 ドリームボーイズ ニュータウンジャガーズ	第34回大会 六田ファイターズ 小牧パンサーズ	第36回大会 竜神JBC 中央台 Катターズ
2012年 (平成24年)	第37回大会 守山ボーイズ 愛知ベースボールクラブ jr	第35回大会 ドリームボーイズ 鳴海シャークス	第37回大会 守山ボーイズ 愛知ベースボールクラブ jr
2013年 (平成25年)	第38回大会 木津ブライト 六田ファイターズ	第36回大会 守山ボーイズ 東山ジュニアスターズ	第38回大会 六田ファイターズ 中小田井JBC
2014年 (平成26年)	第39回大会 木津ブライト 中小田井JBC	第37回大会 守山ボーイズ 鳴海シャークス	第39回大会 蟹江北サンボーイズ 中小田井JBC
2015年 (平成27年)	第40回大会 六田ファイターズ 守山ボーイズ	第38回大会 ドリームボーイズ 幡東ブルースカイ	第40回大会 ドジャース 小牧パンサーズ
2016年 (平成28年)	第41回大会 小牧パンサーズ 愛知ベースボールクラブ jr	第39回大会 有松ジュニアーズ 名古屋平針 HBC	第41回大会 ときわイーグルス 守山ボーイズ
2017年 (平成29年)	第42回大会 木津ブライト 小牧原ジュニアーズ	第40回大会 少年みどり 小牧原ジュニアーズ	第42回大会 木津ブライト ダイヤモンドスターズ
2018年 (平成30年)	第43回大会 チーターレンジャーズ 守山ボーイズ	第41回大会 守山ボーイズ 東山ジュニアスターズ	第43回大会 守山ボーイズ 小牧パンサーズ
2019年 (令和元年)	第44回大会 ドジャース 中小田井JBC	第42回大会 ドジャース 六田ファイターズ	第44回大会 ドジャース 六田ファイターズ
2020年 (令和2年)	第45回大会 森孝ドルフィンズ 東山ジュニアスターズ	第43回大会 ※新型コロナウイルス感染 拡大により未開催	第45回大会 ドジャース 八幡学童野球クラブ
2021年 (令和3年)	第46回大会 グレートブラザーズ 守山ボーイズ	第44回大会 ※新型コロナウイルス感染 拡大により未開催	第46回大会 上条スポーツ少年団 守山ボーイズ
2022年 (令和4年)	第47回大会 守山ボーイズ グレートブラザーズ	第45回大会 ※新型コロナウイルス感染 拡大により未開催	第47回大会 守山ボーイズ ときわイーグルス



## 大会規定改訂点・追加点

### 『試合準備』

《旧》

5. 監督・コーチは、そのチームのユニフォームを着用しなければならない、スコアラー・ケアマネージャーはそのチームの一員である事が分かる服装とする。また、スコアラーについては帽子を着用の事。

《新》

5. 監督・コーチは、そのチームのユニフォームを着用しなければならない、スコアラー・ケアマネージャーはそのチームの一員である事が分かる服装とする。また、スコアラー・ケアマネージャーについては帽子を着用の事。

### 『試合要綱』

《旧》

4. 試合はトーナメント方式とし、1ゲーム＝6イニング、試合時間は1時間30分とする。ただし、3回以降12点5回以降7点以上の点差が生じた場合はコールドゲームとする。

《新》

4. 試合はトーナメント方式とし、1ゲーム＝6イニング、試合時間は1時間30分とする。ただし、4回以降7点以上の点差が生じた場合はコールドゲームとする。

—メモ—